

各位

2025年12月24日
古河機械金属株式会社

産業機械部門：小山・栃木工場で高校生のキャリア教育に協力

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、産業機械部門を担う古河産機システムズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：岩間 和義）は、このたび、小山・栃木工場で高校生向けのインターンシップを実施しました。

本インターンシップには、栃木県立宇都宮工業高等学校の生徒4名が参加し、工場見学および製品説明、CAD・検査・機械加工・組立の実習、品質管理などの業務を体験しました。同校の生徒を対象としたインターンシップは、今回が初めての取り組みです。

古河産機システムズは、今後も、地域で学ぶ生徒が将来の進学や就職を考えるきっかけとなる体験を提供し、企業への理解と関心を深めるキャリア教育支援を続け、採用活動の強化に努めています。



キャリア製品製造現場見学



寸法検査実習



橋梁仮組立見学

■ 参加した学生の感想（抜粋）

- 今まで学んできた品質管理より幅広く検査をしており、自身でも精密にできるようになりたいと思った。
- 組立実習で、製造のスピードだけでなく、焦らず丁寧に作業する大切さを学ぶことができた。
- 不安で緊張していたが、社員の方が気さくに声をかけてくれたため、事業体験に集中できた。
- 会社の事業概要や業務内容、責任の重要性を理解し、実習では機器の操作方法を学ぶことができた。

〈問い合わせ先〉

・お知らせに関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR課

TEL : 03-6636-9501

・キャリア教育支援に関して

古河産機システムズ株式会社小山工場 管理部総務課

TEL : 0285-23-8650

古河産機システムズの主要製品



ポンプ

鉱山での排水処理用に開発して以来、100年以上の歴史があるポンプ。固体物の混じった液体を輸送するスラリー・ポンプや下水処理用汚泥ポンプは、耐久性や耐摩耗性に優れ、高い評価を得ています。製鉄所の水碎設備、非鉄製錬所の耐蝕・耐摩耗原料輸送設備、工場の排水設備、全国の下水処理場等で活躍するほか、地下のシールドトンネル工事現場でも土砂の圧送にポンプが貢献しています。



マテリアル機械

100年以上の経験と実績を持つマテリアル機械は、インフラ整備に欠かせないコンクリート原料となる砕石や石灰石を採掘する砕石場や鉱山のほか、製鉄、化学、非鉄金属鉱業などの各種プラントで使用されています。破碎機、粉碎機、造粒機、スクリーン等のラインナップを揃え、機械の製造・販売だけでなく、周辺プロセスも含めたセクション・プラントの設計・製造・据付工事も行っています。



コントラクタ事業

道路橋や高速道路の高架橋など首都圏を中心に鋼構造物の納入実績を積み上げてきたコントラクタ事業は、工事の設計から施工・運転管理まで一貫して請け負う総合力が強みです。近年ではダンプトラックに代わり、スピーディで環境に優しく、安全・安心な土砂搬送を実現するベルトコンベヤの工事案件も増え、河川や山間、都市部等の現場ニーズに対応した施工技術に、高い信頼を得ています。

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】(東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号 (常盤橋タワー)

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875 年（明治 8 年）8 月

設立：1918 年（大正 7 年）4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,908 人 〈単独〉205 人 [2025 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河産機システムズ株式会社】(古河機械金属株式会社 100%子会社)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号 (常盤橋タワー)

代表取締役社長：岩間 和義

事業内容：足尾銅山の鉱山機械修理技術をルーツに、現在はスラリー・ポンプ、汚泥ポンプ、破碎機、スクリーンのほか、鋼橋梁やベルトコンベヤ等の設計・製造・据付工事・運転管理を行っています。

設立：2004（平成 16）年 5 月

資本金：3 億円

従業員数：448 名 [2025 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawa-sanki.co.jp/>